

神戸市従業員労働組合建設支部との交渉議事録

1. 日 時：令和8年6月25日（木） 18：45～18：55

2. 場 所：市役所4号館6階第1会議室

3. 出席者：

（市）都市局副局長、係長 他1名

（組合）市従建設支部長、書記長、執行委員

4. 議 題：2026年度 現業・公企統一闘争要求・受け

5. 発言内容：

（組合）まずは建設支部の自己紹介をさせていただきます。

建設支部メンバー紹介

（市） 局のメンバー紹介をさせていただきます。

当局メンバー紹介

（組合） それでは、支部長よりあいさつをさせていただきます。

平素は、神戸市従建設支部の活動に対し、ご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。都市局におかれましては、市民生活の安全・安心を守るとともに、暮らしやすい快適なまちづくりに日々ご尽力されておりますこと、敬意を表します。また、私たち建設支部組合員の労働条件の維持・改善にご協力いただいていること、重ね重ね感謝申し上げます。

本日、現業・公企統一闘争要求書を提出し、現場で働く全組合員の声を伝えさせていただきます。この声は、私たち職員が単に働きやすくするためのものではなく、市民がより安全で安心して暮らすことができるかを考えた現場の総意でございます。

行財政改革にあたりましては、業務プロセスの見直し、官民の役割分担の的確な見極め、スリムな組織化の結果、神戸市の財政健全化は確保されてきていると考えております。物価高騰や光熱水費等の値上げなど、厳しい財政状況であっても公共サービスの質の低下を招かぬよう、自治体の責任として、市民に信頼される公共サービスの拡充と資質向上を目指して直営で事業を行うとともに、職員が安心して業務を遂行できるよう、労働安全衛生、職場環境改善など、誠意をもって速やかに善処されますようお願い申し上げます。

また、定年延長に関しては、2031年に引上げが完了し、2032年からは、完全に65歳定年になるということで、様々な雇用形態が混在する過渡期となっていますので、ご配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。

10月15日にヤマ場を設定しております。本日、要求書を提出させていただきますが、折衝・交渉を繰り返しながらヤマ場を迎えることになります。都市局とは、健全な状況であり、信頼関係が築けているという認識ですので、なんら問題ない

と思いますが、これからも引き続き、よろしくお願いいたします。

(組合) それでは、要求書を提出させていただきます。

要求書提出 ※別紙のとおり

(組合) 続きまして、ただいまお渡しした要求書を読み上げさせていただきます。

2026 年 6 月 25 日

神戸市都市局長 松崎 吉希 様

2026 年度 現業・公企統一闘争 要求書

貴職におかれましては、市民が安全安心して暮らせる快適なまちづくりに向けて、日夜ご尽力されていますこと及び私ども職員の労働条件改善についてもご理解を示されている事に対して敬意を表します。

近年、自然災害が多発する状況下、住民のライフラインを守る活動においては、現業労働者の迅速で柔軟な対応が、災害復旧や復興に大きな役割を果たしています。危機管理においては、こうした現場の力が欠かせません。

私たちは、こうした変化に柔軟かつ的確に対応し、直営堅持を基軸に創意工夫を重ね、直営の優位性である創造性・独創性 柔軟性を発揮しながら行政運営を支えてきたところです。多様な市民ニーズに対応するためにも、労働安全衛生の徹底、職場環境の改善、人員体制の強化など、厳しい財政状況ではありますが、市職員でなければならない、より付加価値の高い業務を遂行できるよう、下記の項目を要求します。

1. 自治体行政の責任として、公平かつ公正な公共サービスを市民に提供するため、現業職場と現業労働を直営で行うこと。
2. 勤務労働条件に関わる全ての問題については、事前協議を行う事。また、労使交渉によって妥結した内容については遵守すること。
3. 高齢期雇用については、円滑な制度運用となるよう、職場環境や業務の在り方について労使で十分に協議すること。
4. 公務災害防止に向けた安全衛生管理体制を確立するとともに、そのための具体的な施策について、労使で十分に協議し、労働安全衛生の充実を図ること。
5. 以上の要求に対する回答については、誠意をもって文書回答するとともに、合意事項については文書協約を交わすこと。

以上でございます。

(市) 建設支部の皆様には、平素より、現場の第一線で事業執行にご尽力いただきありがとうございます。

ただいま『2026 年度 現業・公企統一闘争 要求書』として、5 項目の要求をいただきました。

皆様もご承知の通り、地方自治体を取り巻く情勢は非常に厳しいものがあり、

とりわけ私ども地方公務員の給与等の勤務条件につきましては、引き続き各方面から強い関心を集めているところでございます。

また、本市の財政状況につきましては、長引く物価高騰などにより、市民の暮らしや事業者の経営環境に対する支援をはじめ、光熱費の高騰や公共事業費の増加など、追加の財政需要が生じており、一層厳しくなることが見込まれております。

こうした厳しい局面においても、未来を見据えた循環型社会を創造し、持続可能な大都市経営を行っていくため、事務事業の見直しや業務改革、組織の最適化に引き続き全力で取り組んでいく必要があると考えております。

また、これまでも実施いただいているところではありますが、引き続き、経常的・構造的な時間外勤務の解消など、更なる縮減に取り組む必要があると考えておりますので、皆さま方には、改めてご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、このような状況の中でも、都市機能の維持など、公の役割が強く要請される業務については、行政サービスの安定供給を果たすため、引き続き、行政需要や市民ニーズに応じた更なる公的サービスの充実に努め、市職員でなければできない、より付加価値の高い業務へこれまで以上に取り組んでいただく必要があると考えております。

いずれにしましても、本日いただきましたご要求につきましては、ただいまお受けしたところでございますので、十分に検討させていただき、勤務労働条件に関する事項について、改めて回答させていただきたいと考えております。

私どもからは以上でございます。

(組合) ありがとうございました。

それでは、これにて **2026** 年度の要求書提出交渉を終えたいと思います。

以上